



令和元年度 第10号

帯広畜産大学基金報告



目 次

学長挨拶	1
令和元年度帯広畜産大学受入実績	2
令和元年度収支決算	3

学生修学支援事業基金

令和元年度大学基金奨学生との懇談会を開催	4
----------------------------	---

《感謝の言葉》

奨学生から	5
授業料免除学生から	12

大学運営支援事業基金

《社会貢献活動の支援に関する助成》

ちくだいらんぷ事業	16
-----------------	----

その他

賛助会員名簿及び寄附者御芳名	19
各同窓会支部会等への出席	24
大学基金運営委員会委員名簿	26
大学基金に関する規程	27

表紙は令和元年7月に改修された附属図書館

学長挨拶

日頃より皆様には、帯広畜産大学の教育・研究活動に対し、ご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

また、大学基金事業にも多大なるご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

お陰をもちまして、令和元年度の大学基金事業が無事に実施できましたことを、ここにご報告させていただきます。

令和元年度は、各地で開催された同窓会等で引き続きご支援をお願いいたしましたほか、「ちくだいホームカミングデー」でもご協力をお願いして参りました。また、本学関連の企業様、本学学生の就職先企業様にもご協力を要請いたしました。さらに、卒業生・修了生の皆様、学生保護者の皆様に大学基金パンフレットを郵送し、ご協力をご依頼させていただきました。

ご寄附いただく方の利便性向上のため、平成30年2月からは、クレジットカード決済、コンビニ決済、ネットバンク決済の取り扱いも始め、利用される方も増加しています。

多くの皆様より多大なるご支援とご協力をいただきましたお蔭で、令和元年度は前年比1.1倍の寄附件数となりました。ご支援いただいた寄附金は、経済的に困窮している優秀な学生への奨学金給付、入学料免除、授業料免除等を中心に、さらに、学生による地域での社会貢献活動への助成にも大切に使用させていただきました。

また、附属図書館の改修費用の一部にも活用させていただきました。老朽化していた附属図書館では、空調が行き届かないなど、たびたび学生からの要望がありましたが、この度のリニューアルにより、空調整備をはじめ、現在の学習を支えるICT環境を整え、アクティブな学習を促す什器を揃えたラーニングコモンズを整備したほか、仕切りのある閲覧机や窓面に面したカウンターテーブルを設け、個々の学習によって場所の選択が出来るようにするなど、多様化する学習形態に対応可能な非常に快適な施設となりました。機会がございましたら、ぜひ新しい附属図書館を訪れていただけますと幸いです。

近年は、同窓生・同窓会の皆様、保護者の皆様、そして企業等の皆様に賛助会員にご加入いただいていることで、充実が必要不可欠な財政基盤を築くことが出来ております。賛助会員未加入の皆様におかれましても、何卒ご加入をご検討くださいますようお願い申し上げます。

今年度は、例年実施している奨学金給付等の事業のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮している学生への支援等も検討しております。

つきまして、今後益々大学基金事業の充実が期待されておりますので、引き続きより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

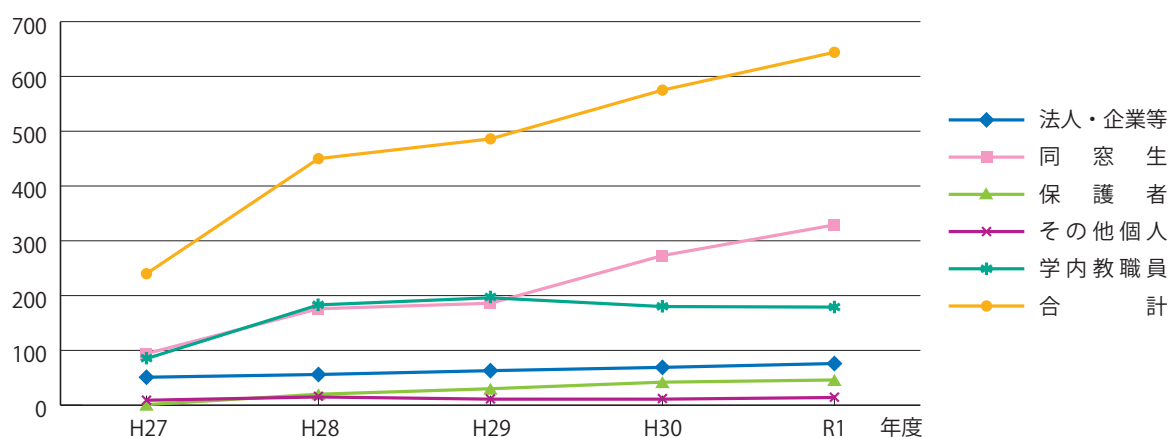


国立大学法人帯広畜産大学
学長 奥田 潔

令和元年度帯広畜産大学基金受入状況

件数 (件)

基金への寄附件数

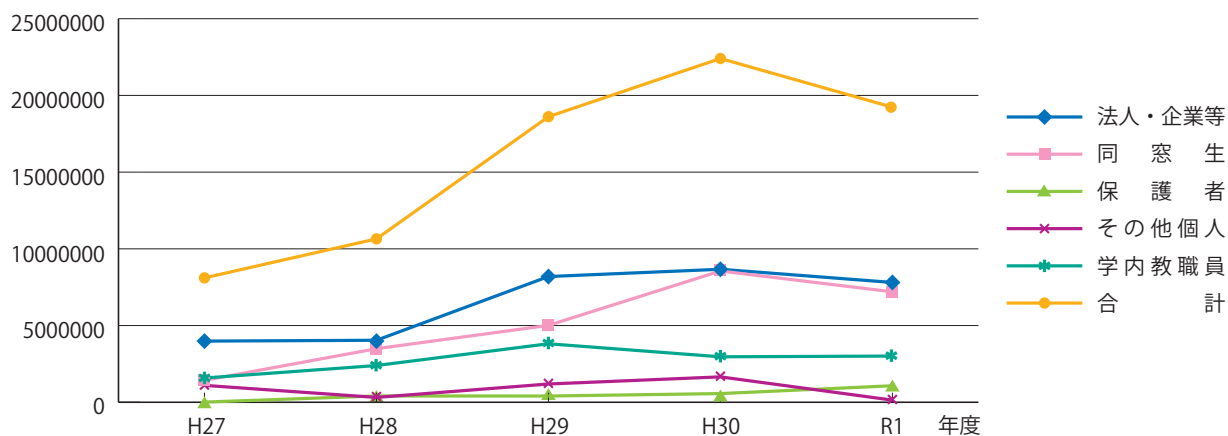


(単位: 円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年間	年間	年間	年間	合計	学生修学支援	大学運営支援
法人・企業等	51団体	56団体	63団体	69団体	76団体	2団体	74団体
学外個人	104名	211名	227名	326名	389名	370名	19名
同窓生	94名	176名	186名	273名	329名	316名	13名
保護者	1名	20名	30名	42名	46名	41名	5名
その他個人	9名	15名	11名	11名	14名	13名	1名
学内教職員	85名	183名	196名	180名	179名	177名	2名
賛助会員	85名	102名	105名	93名	86名	84名	2名
ワンコイン賛助会員	—	81名	91名	87名	93名	93名	—
合計	240件	450件	486件	575件	644件	549件	95件

金額 (円)

基金への寄附金額



(単位: 円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年間	年間	年間	年間	合計	学生修学支援	大学運営支援
法人・企業等	3,986,000	4,040,000	8,194,000	8,668,380	7,808,680	240,739	7,567,941
学外個人	2,541,000	4,215,000	6,608,000	10,776,000	8,412,877	8,114,010	298,867
同窓生	1,431,000	3,490,000	5,012,000	8,556,000	7,198,867	6,995,000	203,867
保護者	10,000	410,000	406,000	565,000	1,075,000	1,030,000	45,000
その他個人	1,100,000	315,000	1,190,000	1,655,000	139,010	89,010	50,000
学内教職員	1,580,000	2,394,500	3,812,500	2,962,000	3,010,500	3,000,500	10,000
賛助会員	1,580,000	1,880,000	2,775,000	1,646,000	1,675,000	1,665,000	10,000
ワンコイン賛助会員	—	514,500	1,037,500	1,316,000	1,219,000	1,335,500	—
合計	8,107,000	10,649,500	18,614,500	22,406,380	19,232,057	11,355,249	7,876,808

令和元年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	76	7,808
同 窓 生	329	7,198
保 護 者	46	1,075
そ の 他 個 人	14	139
教 職 員	179	3,010
小 計	644	19,232
利 息 収 入 等	—	3,117
合 計	644	22,350

支出の部

(単位：千円)

項 目		金 額
学 生 修 学 支 援 事 業 基 金		
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除12名, 入学料免除 4 名	2,735
学 資 給 付 事 業	学部生12名, 大学院生 7 名	8,270
小 計		11,005
大 学 運 営 支 援 事 業 基 金		
教育研究環境整備事業	図 書 館 改 修	20,000
社会貢献活動支援事業	ち く だ い ら ん ぷ 事 業	2,500
小 計		22,500
合 計		33,505

令和元年度現預金期首残高	293,874
--------------	---------

令和元年度現預金期末残高	282,718
--------------	---------

令和元年度大学基金奨学生との懇談会を開催

11月29日(金)に、本部棟大会議室において、令和元年度大学基金奨学生との懇談会を開催しました。この懇談会は、同奨学生に大学基金の趣旨を理解していただき、有効に使用してもらうことを目的に開催しています。

奥田学長から、「大学基金は、学生を応援したいという寄附者の気持ちが込められていることを忘れず、今後も勉学に励んで欲しい。また、大学を離れた後は、感謝の気持ちが後輩へと繋がるように支援をお願いしたい。」とのお話がありました。

その後の懇談会では、各奨学生から、奨学金を学費や生活費等として活用することで、親に頼らずとも充実した学生生活を送っていることが報告され、「現在親からの仕送りはなく、さらに高校生の時に借りていた奨学金の返済が始まっているので、アルバイトの収入で賄いきれない生活費等に充てさせていただきます。」「来年就職しますが、大学院へ社会人入学を考えているので、その入学費用や学費の一部にさせていただきます。」などといった感謝の言葉がありました。



奥田学長（前列中央）と奨学生
野並学長補佐，山岸副学長・事務局長（後列左より），柳川理事（後列右）

奨学生からの感謝の言葉

「生活費を賄うために使うはずだった時間を勉学に使うことができました。」

畜産科学課程1年 伊達 洸賀



この度は帯広畜産大学基金奨学生に選出していただき、誠にありがとうございます。奨学金の給付を受けることができたためアルバイトで生活費を賄うために使うはずだった時間を勉学に使うことができました。大学基金に寄附してくださった皆様、大学職員の方々に心より感謝申し上げます。農畜産学を学ぶのはどれも興味深かったのですが、この1年で最も印象に残った全学農畜産実習を通して多くの命をいただいていることがわかりました。このことから自分ではない命と自分の命への感謝の気持ちを心に据えて生活したいと感じました。この1年間ご支援いただいたことに感謝を忘れず、二年生以降のユニット分属後も勉学に精進していきたいと思います。

「ご支援をいただいたことに恥じぬよう、勉学に励んでまいります。」

畜産科学課程1年 吉田 涼



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は、現在学費や生活費を自分で負担しております。奨学金をいただいたことにより自分の時間、主に勉学に充てることができています。この約1年間様々な講義を受け、様々なことを学んできました。どの講義も興味深いものですが特に印象に残ったのは「全学農畜産実習」です。野菜を栽培すること、動物を飼育すること等々、いかに大変か身に沁みました。座学だけでは学べない大切なことが学べた気がします。ご支援をいただいたことに恥じぬよう、今後もまじめに学生生活を送り、勉学に励んでまいります。最後になりますが奨学金のご支援をいただいたすべての方々に心から感謝申し上げます。

「今後も感謝の気持ちを忘れずに、勉勵してまいりたいと思います。」

畜産科学課程1年 笹山 航弥



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は、兄弟3人とも進学しているため、親へ大きな負担をかけていました。自分でも、アルバイトをしていましたが、それでも親への負担を減らすことができていませんでした。今回の奨学金の給付により、親への負担を大きく減らすことができました。私は、この1年間、様々なことを体験し、学びました。特に、「全学農畜産実習」では、豚の飼育・屠畜、ソーセージ作り、アイスクリーム作りなどを体験し、多くの人の手を渡って、やっと消費者に届くことを実感しました。このような、素晴らしい体験をすることができたのは、支援していただいた皆様のおかげです。今後も、感謝の気持ちを忘れずに、勉勵してまいりたいと思います。

「勉学に集中したり自分と向き合う時間を増やしたりすることができました。」

畜産科学課程1年 六鹿 南美



この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。いただいた奨学金のおかげで、金銭面で悩むことが減り、勉学に集中したり自分と向き合う時間を増やしたりすることができました。私は現在、馬の飼育をするサークルで活動しており、朝早く起きて馬の世話をしています。畜大構内にある馬の介在室では、仔馬から老齢馬まで幅広い年齢層の馬が飼育されており、年齢によっておこる病気などを現場で見て学んでいます。また、獣医学課程の研究室の道産子飼育プロジェクトをお手伝いさせていただいており、馬の妊娠、出産、離乳などを実際に見て学ぶ機会があり、日々刺激を受けています。皆様のご支援のおかげで今の生活が充実したものであることに心から感謝し、今後の学生生活を送っていききたいと思います。

「奨学生としてふさわしい学生になれるよう努力していきます。」

共同獣医学課程1年 千葉 陸斗



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は親からの支援がないので生活費などはアルバイトと奨学金でまかなっております。しかし、去年まで他の大学に在学したのでその時に借りていた奨学金、高校生の時に借りていた奨学金の返済があり、アルバイトの時間を多くしなければならなく学業との両立が大変でした。本奨学金を給付していただいたおかげでアルバイトの量を減らすことができ、より学業に時間を割くことができるようになりました。二年生になると専門科目の講義が始まり現在より難しくなっていくので奨学金が給付され時間にゆとりがあるうちに勉強する習慣を身につけ、奨学生としてふさわしい学生になれるよう努力していきます。

「本奨学金のおかげで学業や部活動に励むことができました。」

共同獣医学課程1年 村上 零於



この度は、帯広畜産大学基金奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。私は、学費や生活費等の援助を受けておらず、奨学金とアルバイトで賄っていますが、本奨学金のおかげで経済的な負担を軽減し、学業や部活動に励むことができました。大変感謝しております。この1年で様々なことを学びましたが、特に豚の飼育や牛の分娩観察などの実習により実践的な知識を身につけることができました。来年度からはより専門的な分野の学習が始まりますが、これらの経験を生かしていきたいと思います。現在は研究室に所属していませんが、小動物臨床に興味を持っております。ご支援をいただいた恩に報いることができるよう、今後も精進していきたいと思います。

「社会に還元できる獣医師になれるよう日々精進してまいります。」

共同獣医学課程2年 中野 夢



この度は、帯広畜産大学基金奨学金を授与して頂き、誠にありがとうございます。私の家庭では、私の生活費を賄うことが困難な状況です。さらに、学部2年生になり授業や実習とアルバイトとの両立が難しくなったため、ご支援をお願いすることになりました。

授業では、2年目になったため獣医の専門科目の講義や実習も始まりました。興味のある分野について学ぶことができ充実した学校生活を送れていると感じております。特に、生理学や解剖学の知識はこれから学ぶ知識の基礎となるためしっかりと身につけていきたいと考えております。皆さまのご支援により学業に専念することができていることを忘れずに、自分も社会に還元できる獣医師になれるよう日々精進してまいります。

「本奨学金を頂けたことにより経済面で安心でき、勉学に励むことができました。」

畜産科学課程3年 吉川 真帆



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただきありがとうございます。頂いた奨学金は学費や生活費に使わせていただきました。私は食品化学ユニットの福島先生と韓先生のいる研究室に在籍しています。詳しい研究テーマはまだ決まっていませんが、腸内発酵についてこれから研究していきます。また、私は今年度から帯広畜産大学に来た編入生であるため1,2年生のうちにとる必要のある講義も多かったのですが、本奨学金を頂けたことにより経済面で安心でき、勉学に励むことができました。これからの残りの学校生活で、多くの知識と教養を身につけ社会に出れるよう、今後も、採用して頂いた感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。

「ご支援に感謝しながら、今後も積極的に学び、社会に貢献できるよう努めます。」

畜産科学課程3年 桑島 千紘



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。私は、学費や生活費など全て自分で賄っている状態で、勉強を続けるために多くの時間をアルバイトにつぎ込み、常にお金の心配がありました。しかし今は、奨学金のおかげで心にも余裕ができ、学内・学外共に様々な学びや経験が出来るようになりました。研究室では乳清タンパク質の新たな用途にもなると言われている気泡ゲルの物性特性について勉強し研究を進めていく予定です。チーズの副産物でもあるホエイの活用は世界でも問題になっている食品ロスの低下、又、栄養に焦点を合わせた製品としての使用拡大にも繋がると考えられ、とても有意義な研究です。ご支援に感謝しながら、今後も積極的に学び、社会に貢献できるよう努めます。

「本学で学んだことを活かし，農業に貢献できるよう仕事に取り組んでいきたい
と思います。」

畜産科学課程 4 年 上野山 藍



この度は，帯広畜産大学基金奨学生に採用していただきありがとうございます。私は，「北海道十勝地方における確率降水量の評価」をテーマに，水文量の非定常性を考慮した確率降水量について研究を行いました。その結果，十勝地方における確率降水量の地域的な変動傾向を明らかにすることができました。今年度，私は研究や就職活動が忙しく，経済的に余裕のない状態でした。その中，奨学金を授与していただいたことで，研究に専念できるようになり，12月には学会で発表することができました。来年度からは，希望していた農業土木の会社で働くことが決まっています。本学で学んだことを活かし，農業に貢献できるよう仕事に取り組んでいきたいと思っています。

「本奨学金の給付により生活にゆとりができ，卒業研究に専念することができました。」

畜産科学課程 4 年 池本 秀樹



この度は，帯広畜産大学基金奨学生に採用していただきありがとうございます。4年生となり，卒業研究が忙しくなるためアルバイトはできず親からの仕送りもないため，貯金と日本学生支援機構の奨学金のみで生活をしなければいけませんでした。しかし，本奨学金の給付により生活にゆとりができ，卒業研究に専念することができました。卒業研究では，肥料として新たに注目されている混合堆肥複合肥料と高リン鉄鋼スラグが作物や土壌にどのような影響を与えるのかという研究を行いました。来年度からは本学の大学院に進学し，ゼブラフィッシュを用いたネオニコチノイド系農薬の発達神経毒性について研究を行う予定です。大学院進学後も，より一層邁進していけるよう努力していきます。

「基金奨学生に採用いただき誠にありがとうございます。」

畜産科学課程 4 年 渡嘉敷 柚



この度は，帯広畜産大学基金奨学生に採用いただき誠にありがとうございます。私は所属する研究室で，機能性成分として注目されている天然色素アスタキサンチンについて，畜肉製品と絡めた観点から研究しています。経済的な事情でアルバイトをせざるを得ませんが，お陰様で以前よりその頻度を減らすことが出来，その分の時間を研究室で過ごすことに充てられるようになりました。卒業研究だけでなく大学院への進学も控えているので，この時間を最大限有意義に使えるよう努力していきたいです。これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを忘れず，またこれからも一緒に頑張っていく方々に恥じないような学生生活を送れるように頑張ります。

「奨学金を使わせていただけているため、学業に打ち込むことができています」

畜産科学専攻1年 加藤 裕之



私は現在、環境生態学コースにある野生動物管理学的研究室で十勝におけるアライグマの行動について研究を行っています。普段は野外での調査が基本でアライグマの捕獲とその個体にGPS発信機付き首輪をつける調査と、その首輪をつけた個体が「いつ、どこにいたか」というデータを首輪から受信するために、帯広を中心として首輪から発信されている信号を捜す調査を行っています。これらの調査を行う際に必要な作業着や多く使う消耗品などに今回いただいた奨学金を使わせていただけているため、アルバイトをほとんどすることなく、学業に打ち込むことができています。貴重な奨学金を給付していただいたことに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

「奨学生としてご支援いただいた分、より一層の努力をしてみたいです。」

畜産科学専攻1年 佐藤 夕夏



この度は、奨学金を給付していただき心よりお礼申し上げます。修士1年となり研究が学部の時以上の本格化に伴いアルバイトとの両立が難しい中、本奨学金の給付により研究へ集中して取り組むことができました。私は、気候変動問題が生じている現在、発電効率の良い洋上風力発電をどこに建設すれば人に都合がよく、また海鳥にもリスクが少ないか、ということを中心にオオセグロカモメを捕獲しGPSを装着して調査を行い、リスクを低減させるためのマップの作成を学部修士一貫して行っています。今回奨学生としてご支援いただいた分、今後は恩返しをしていけるよう、より一層の努力をしてみたいです。この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき誠にありがとうございました。

「本奨学金を頂けたことでこの1年を無事に過ごせ、研究にも専念できました。」

畜産科学専攻1年 川村 香純



まず初めに、帯広畜産大学基金奨学金の奨学生に採用していただきありがとうございます。私は、昨年度も本奨学金を授与していただきまして、そのおかげで無事学部を3年で卒業する早期卒業をすることができました。今年度からは帯広畜産大学の大学院に進学し、学部の頃から行っている、マウスを用いた原虫感染症に効く物質の研究を行っています。この研究により、世界中で問題となっている人獣共通感染症のワクチンや薬の開発につながるのではないかと考えており、少しでも多くのヒトや動物の命が救えれば良いと考えております。今年度は昨年度よりも研究が忙しく、なかなかアルバイトの時間を確保できなかったため、本奨学金を頂けたことでこの1年を無事に過ごせ、研究にも専念できたと思っております。本当にありがとうございました。

「充実した研究生生活を送ることができ、本当に感謝しております。」

畜産科学専攻2年 山代 佳孝



この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。アルバイトと研究の両立が難しく、また学生最後の一年間を学業・研究に専念したいと考えておりました。したがって、頂戴した奨学金は、生活費に使わせていただきました。私は現在島田謙一郎教授、三上奈々助教のもとで、熟成肉の研究をしています。熟成を促進させる機械を用いて実際に熟成肉を製造し、食肉のうま味や軟らかさを中心に研究を進めています。この帯広畜産大学基金に携わる皆様からのご支援により、充実した研究生生活を送ることができ、本当に感謝しております。

「ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、社会に貢献できるよう努力したいと考えております。」

畜産科学専攻2年 富田 悠斗



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は微生物殺虫剤として使用されている昆虫病原性細菌が植物の病気を防いだり、生長を促進したりする効果に着目し、微生物資材の新利用法開拓をテーマとして研究を行ってきました。研究内容について国内外の学会に参加し、発表を行いました。奨学金を授与していただいたおかげで余裕を持って自費負担分の費用を賄うことができました。また、実家の農作業とアルバイトを行いながら大学に通っていましたが、アルバイトの回数を減らし、研究に専念することができ、大変感謝しております。来年度からは社会人となりますが、ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、社会に貢献できるよう努力したいと考えております。

「奨学金を授与していただいたおかげで研究に専念することができました。」

畜産科学専攻2年 鈴木野々花



この度は、帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。現在、私は日本固有種であるヒメネズミの生態について研究しています。気候や資源量に応じて異なる生態をもつヒメネズミが、北海道の冷温帯落葉広葉樹林ではどのような繁殖パターンや資源利用を示すのか、実際に森林で調査を行い、新たな知見を示すことができました。就職活動も相俟って不規則なスケジュールの中、奨学金を授与していただいたおかげでアルバイトの時間を減らすことができ、落ち着いて研究に専念することができました。ご支援いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。今後も皆さまへの感謝を忘れず、より一層精進していきたいと思っております。

「奨学金をいただいた感謝を忘れずに、研究に励んでいきたいと思います。」

畜産科学専攻2年 五嶋 大介



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。私は、今年度大学院修士課程で製パン用酵素及び真空冷却を用いた高品質もち大麦粉添加パンの開発をテーマに研究を行いました。給付していただいた奨学金のおかげで時間に余裕が生まれ有意義な研究活動を行うことができ、英論紙への投稿や国内外の学会での発表を果たすことができました。ご支援いただきました帯広畜産大学基金の賛助会員並びに寄付者ほか関係者の方々にお礼申し上げます。今後も奨学金をいただいた感謝を忘れずに、研究に励んでいきたいと思います。

授業料免除への感謝の言葉

「大学生活を有意義なものにするのに非常に助かっています。」

畜産科学課程1年 山本 道



帯広畜産大学で授業料免除を受けさせて頂いている畜産科学課程1年の山本です。僕の家庭は金銭面で援助が必要だったため、授業料免除を受けました。大学生活は高校までとは違い、いろいろな面でお金が必要な場面があります。自分ひとりのアルバイトで稼いだお金や親の支援だけでは大変な部分も多いので、授業料免除を受けさせて頂いていることは、大学生活を有意義なものにするのに非常に助かっています。大学生活では一般的に身につけるべき教養はもちろんのこと、帯広畜産大学でしか学べない知識や経験を積み重ね、あらゆることに挑戦していきたいと考えています。

「授業料免除をしていただき、大きな励みになりました。」

畜産科学課程1年 王 金栄



私は中国出身であり、日本で生活するのは3年目になります。日本の物価は中国よりも高く、経済的にも苦しいので、できる限り自分で日本での生活費を稼いでおりますが、特に学費は非常に大きな負担でした。この度授業料免除をしていただき、とても大きな励みとなり、自分に時間を使うことができました。現在では英語と日本語を学ぶうまく話せるように勉強しています。繰り返になりますが、授業料免除をしていただき、本当にありがとうございました。

「素敵な大学生活を過ごせているのも授業料免除のおかげです。」

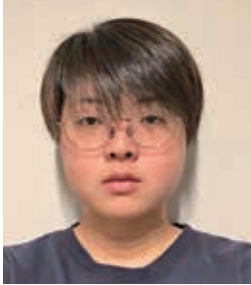
共同獣医学課程2年 関口 かるな



小学生の頃から獣医師になりたいと思っていた私に、家族はたくさん協力してくれました。実際に帯広畜産大学の共同獣医学課程に入学でき、授業料免除のおかげで家計の負担も小さくなりました。とても感謝しています。また、昔から憧れて、学びたいと思っていた動物の生理学的なこと、薬理学や免疫学など治療に必要な知識を学べられることがとても嬉しく思っております。同じ獣医を目指す学生同士日々過ごす中でもたくさん学べることがあり、とても楽しく幸せに思っております。このような素敵な大学生活を過ごせているのも授業料免除による金銭的な助けが大きいので感謝してもしきれないです。大変ありがとうございます。

「学びの機会を与えてくださり、本当にありがとうございます。」

畜産科学課程3年 岩部 梨沙



帯広畜産大学では授業料を免除して頂いたおかげで様々なことを学びました。実習では野外調査の方法、統計解析などを学び、持続可能な社会を支える技術の一端を学ぶことができたかと自負しています。授業では様々な分野について学ぶことができ、今までになかった思考回路でものを考えられるようになりました。学びたいと思っていたことを学ぶことができ、授業中喜びを感じています。将来は地元へ戻り、地域の自然を守っていきたくと考えています。大学で学んだことを活かし、地域の人々を支える森を豊かにし、生活を豊かにしていきたいです。このような目標とそこに近づくための学びの機会を与えてくださり、本当にありがとうございます。

「大学で学んだ知識を生かし、社会に貢献できる人になれるよう精進していきたいと思います。」

畜産科学課程3年 佐々木里菜



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により授業料免除していただきまして心より感謝申し上げます。私は、野生動物管理学的研究室に在籍しており、キタキツネのエキノコックス症の感染経路を明らかにするといった研究を行う予定です。現在は、研究を行うための下準備として、生態学の勉強や実際に自動撮影カメラを設置し、研究の予行演習をしております。このように学業に専念することができたのは、授業料免除によってアルバイトの時間を減らすことができたからであり、支援して下さる方々に大変感謝しております。今後は、大学で学んだ知識を生かし、社会に貢献できる人になれるよう精進していきたいと思います。

「集中して勉学に励むことができております。」

畜産科学課程3年 三原 夕佳



この度は、帯広畜産大学基金のご支援によって授業料免除の認定を受けることができましたこと、心から感謝いたします。3年生となり研究室分属、就職活動、またアルバイトとの両立が難しい中、授業料免除の認定により、勉学に集中して取り組むことができました。私の研究室では、低温ストレスに対する植物の生理反応について研究しています。まだ研究内容の詳細は決まっていますが、耐凍性に関する研究が今後、北海道のような寒い地域でも栽培できる品種を増やしていくと考えております。支援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人材になれるよう、より一層努力してまいります。最後になりますが帯広畜産大学 基金に携わる皆様にお礼申し上げます。

「自分の夢にまた一步近づけたと感じました。」

畜産科学課程4年 ディエラ ナタニア



この度は、授業料免除申請を許可していただきありがとうございます。母国であるインドネシアの農業に貢献したいという夢を持ち、この大学に入学してから4年がたちました。本学では座学だけではなく、現場での実習などを通して農業に対する知識を集中して深めることができました。そして土壌学研究室での専門的な勉強や生産者圃場での実験によって、自分の夢にまた一步近づけたと感じました。また、留学生である私は勉強だけではなく、日本の部活の体験、食文化や趣味を深める時間を作ることができました。大変感謝しております。

「支援してくださり心から感謝申し上げます。」

畜産科学課程4年 丁 銘浚



私は現在畜産科学課程4年で獣医解剖学研究室に所属し、動物の形態からその生き方を勉強させていただいております。研究としてはカワウソ亜科動物の頭部を用いたCT画像解析で、これらの研究は半水生・水生哺乳類であるカワウソ亜科動物の頭部の内部構造を非破壊的に理解し、解剖学・形態学的情報を提供することができると思います。さらに、このような動物へのより深い理解は、生態保全などにも繋がるのではないかと考えております。授業料免除の支援をしてくださった帯広畜産大学基金の賛助会員および寄附者の方々のお陰様で、勉強は無論、研究を行うことにあって多彩で貴重な経験を積むことができました。支援してくださり心から感謝申し上げます。

「学業に専念することができ、有意義な学生生活を送ることができています。」

畜産科学課程4年 田村 朗



帯広畜産大学基金の賛助会員、寄附者の皆様により手厚い支援をいただきありがとうございます。本大学基金からなる授業料免除により、学業に専念することができ、有意義な学生生活を送ることができています。私は今、花田研究室に所属しており、新生子牛の免疫移行に関わる、子牛の第4胃におけるカード形成についての研究をしています。子牛の免疫移行は生後24時間以内に摂取する初乳に依存していることから、カード形成の原理を明らかにすることで、免疫移行が効率的に行う方法を検討します。私は現在、学部の4年生ですが、来年度は博士前期課程に進学します。今後とも変わらぬご支援よろしくお願いします。

「経済的な理由で苦しむことなく研究や実習に集中して取り組むことができます。」

共同獣医学課程5年 浦田 望



共同獣医学課程5年の浦田望と申します。私は授業料免除を受けさせていただいたため、経済的な理由で苦しむことなく研究や実習に集中して取り組むことができます。帯広畜産大学基金の賛助会員や寄附者の方々につきましては大変感謝しております。私は現在獣医公衆衛生学研究室に所属し、レジオネラ菌という細菌の病原性についての研究を行っております。レジオネラ菌は循環式浴槽から発生するエアロゾルが感染源となり、人に肺炎を引き起こします。レジオネラ菌による肺炎は近年増加傾向で公衆衛生上重要な問題となっています。私はその病原性を明らかにすることにより人々の健康に貢献したいと考えております。

「大きな心の支えになり、前向きに進んでいこうと勇気づけられました。」

共同獣医学課程5年 種村 柊



まず初めに、この度は皆さまのおかげで授業料の免除をしていただける運びとなったこと、心から感謝しております。私は、微生物学研究室で「抗体を用いた細菌毒素の定量法の確立」をテーマに研究しています。この研究が進めば、食品中の有害な毒素の量を簡便に測ることが出来るようになり、より安全な食品の提供に繋がると期待しています。このたび、生活への不安を抱えていた所に授業料の支援をしていただけたことは大きな心の支えになり、前向きに進んでいこうと勇気づけられました。引き続き、大学という恵まれた環境を活かし研究・勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

「私がこの環境で勉強が続けられるのも、ひとえに皆様のお力添えのおかげです。」

共同獣医学課程5年 星加 恭



私の所属する基礎獣医学ユニット病態病理学研究室ではBSE（牛海綿状脳症）をベースに、プリオン病の病態解析を行っています。まだ確立されていない治療法の開発を目標に、プリオン株の違いによる比較病理と、毒性の発現機序の解明に取り組んでいます。朝始めた実験が夜までかかることも珍しくありませんが、古岡教授のご指導の下、恵まれた環境で研究をさせていただき、論文の投稿も予定しています。私の家は認知症を患う祖母の自宅介護のため、両親の仕事が制限され、金銭面で余裕がありません。私がこの環境で勉強が続けられるのも、ひとえに皆様のお力添えのおかげです。最後になりますが皆様への感謝を申し上げるとともに、より一層勉学に励みたいと思います。

ちくだいらんぷ事業

ちくだいらんぷ事業を通じて学生の地域志向を育み、卒業後も十勝の応援団として活躍する人材づくりを目的に、学生が中心となり、帯広・十勝の活性化を図る取組を応援しました。

1. 「十勝ジンギスカン会議2019」(2019年8月30日)

十勝の美味しいジンギスカン店や焼き肉店を全国にアピールすることを目的に学生が主体となって開催しているイベントで、今年度で5回目となりました。仕事終わりの社会人や夕食時のご家族をターゲットに、2019年度は金曜日の夕方(17:00～21:00)に開催し、来場者は約800名でした。今回も各店舗様にご提供いただいた商品を景品に、ビンゴ大会を開催し、昨年同様お子様を含め大勢の方々に楽しんでいただくことができました。イベント終了間際には大雨が降りだす事態に見舞われましたが、学生・職員の皆様のご尽力により盛況のうちに終了することができました



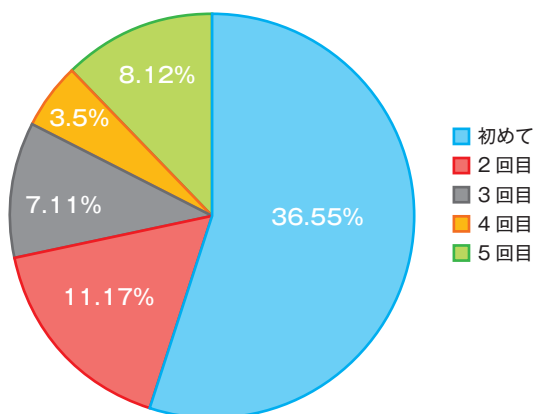
多くの参加者で賑わう十勝ジンギスカン会議 2019

＜参加店舗＞※順不同

かんの精肉店、韓国焼肉あんじゅ、ジンギスカン白樺、焼肉南大門、生らむ一桂、焼肉平和園、らむ亭、高橋肉店、肉ノ五右衛門、MeatShop小久保、有限会社五日市、みどり食堂、ミートとみおか、上田精肉店、樹々苑、熔岩炭火焼肉はま屋、じんぎすかん北海道 (計17店舗)

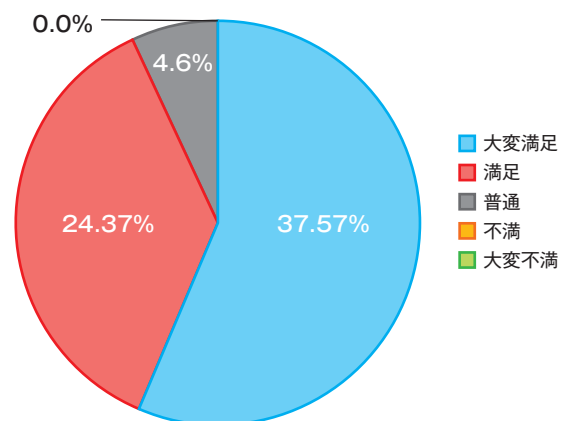
＜アンケート結果＞※来場者65組が回答

ジンギスカン会議の参加回数



(約55%が初めてと回答)

イベントの満足度



(90%以上が「大変満足・満足」と回答)

2. ちくだいらんぷプロジェクト

今年度も昨年度同様、「文化・スポーツコース」「地方創成・地域活性化コース」「おびひろ動物園活性化コース」の3コースに分け、学生から企画を募集いたしました。今年度は全15件の事業を採択し、5月下旬から12月下旬にかけて活動を行いました。

(1) 文化・スポーツコース（愛称：みんなのちくだい。）

団体名	事業名
アメリカンフットボール部	アメフトふれあい体験
カーリング部	世界へ羽ばたけ！カーリング体験
ダチョウサークル	ダチョウの卵を「見て・触って・食べて」みよう！！
帯広畜産大学吹奏楽部	ふれあい音楽体験
畜大水泳同好会	出張競泳スクール～競泳4種を泳いでみよう！
熱気球の会BCFP	熱気球にふれてみよう！乗ってみよう！
帯広畜産大学馬術部	畜大ホースでLet's乗馬体験2019
帯広畜産大学陸上競技部	みんなの陸上教室
体操部	おとなも子どもも楽しめる！バック転教室

（採択事業9件）



吹奏楽部のふれあい音楽体験



ミツバチサークル BEEHAVE の活動

(2) 地方創成・地域活性化コース（愛称：とかチャレ）

団体名	事業名
牛飼いのハンバーガープロジェクトチーム	学生と生産者の連携による6次産業化推進
帯広畜産大学ミツバチサークルBEEHAVE	BEEHAVE～ミツバチでまちも農業も活性化～
ちくだいKIP students	タルタルのタルタルによるタルタルのためのタルタル
me+you加工品チーム	目指せ！野菜嫌いの大人更生プロジェクト(十勝産農産物を利用した加工品開発)
me+you朝ごはんチーム	十勝人の十勝人による十勝人のための朝ごはん。

（採択事業5件）

(3) おびひろ動物園活性化コース（愛称：ずーぷろ）

団体名	事業名
OZUFUL (Zooful)	動物人気投票とズーカフェ

（採択件数1件）

附属図書館の改修工事

老朽化していた附属図書館を改修し、多様化する学習形態に対応可能なスペースの整備を行い、令和2年7月18日に竣工記念式典を行いました。この改修費用の一部に大学基金からご支援いただきました。心から感謝申し上げます。



式典の様子



附属図書館の外観



閲覧スペース



ラーニング・コモンズ



ご支援いただいたことを示すプレートを設置

寄 附 者 ご 芳 名

(令和2年3月31日現在)

【企業・団体等】 (76団体 うち賛助企業54団体)

(五十音順・敬称略)

【100万円】

敷島製パン(株)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

【20～30万円】

(株)土谷特殊農機具製作所

十勝農業協同組合連合会

農業生産法人(株)リトルブルーファーム

宮坂建設工業(株)

よつ葉乳業(株)

昭和39年度獣医学科卒業生一同

(株)十勝毎日新聞社

ハラデンキ(株)

宮本機械(株)

【6～10万円】

(株)ズコーシャ

酪農畜産乳業関連関東有志同窓会

内外施設工業(株)

【5万円】

十勝信用組合

(株)平田建設

Y S ヤマショウ(株)

十勝農協連畜大同窓会

北王コンサルタント(株)

山の下ペットクリニック

【2万円】

出雲ペットクリニック

(株)ダイイチ

【1万円】

(株)伊豆倉組

(株)小澤建設

富士金網製造(株)

(株)山本忠信商店

(株)エヌシーおびひろ

バイオマスリサーチ(株)

やまびこ動物病院(株)

【企業・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

(株)アイエイチメンテック

(株)アクト

大槻理化学(株)

(有)青田企画巧芸

大高酵素(株)

帯ガス燃料(株)

帯広市川西農業協同組合
帯広商工会議所
弘進ゴム(株)
士幌町農業協同組合
全国酪農業協同組合連合会
大昭電気工業(株)
東洋農機(株)
(有)十勝スロウフード
(株)日専連ジェミス
熱原設備(株)
藤原工業(株)
北成建材工業(株)
北海道電力(株)
まいど家畜医院
宮本商産(株)

帯広地方卸売市場(株)
(株)北口電器商会
(株)笹原商産
ジャンボ動物病院
(株)曾我
税理士法人竹川会計事務所
十勝清水町農業協同組合
十勝地区農業協同組合長会
(株)日本サーモエナジー北海道支社
美瑛町農業協同組合
北慎建設工業(株)
(株)北海道新聞社帯広支社
北海道農業協同組合中央会帯広支所
三菱商事(株)北海道支社
(株)柳月

不掲載希望 11団体

【個人・学外】 (342名 うち賛助会員165名)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

斉藤 篤

【30万円】

上田 英夫

【10万円】

今田 忠夫
長南 隆夫
平岡幹之助

内田 英二
出口 宣夫
武藤ぼくじ

鬼塚 義臣
中岡 祐司
諸角 元二

小林 勉治
中川 光義

鈴木 一郎
林 克昌

【6万円】

御代田美一

【5万円】

浅沼 敏生

伊織 嬌子

繁田 裕子

長澤 秀行

山中 健司

【4万円】

名和 靖史

【3万円】

畑中 千啓

三浦 輝雄

横尾 博

【2万1千円】

安田 昌英

【2万円】

五十嶋一恵

影山 晴久

勝俣 和悦

佐藤 理映

下野 研一

千村 晶子

藤田 淳

森井 恒幸

山下 博司

山本 哲也

【1万5千円】

早坂 純一

【1万円】

有賀 秀子

安藤 弘

池田 奉昭

池畑 努

石川 諭史

石川 智之

石田 雅嗣

市村 豊

岩崎 繁基

岩波 道生

宇草 哲夫

大友 秀文

大宮 良文

加藤 良彦

亀尾 勇人

亀村 敏雄

河口 和吉

川原 勝則

神林 昌也

木暮 靖志

木林 透

久保 長旦

久保田政男

小林 将人

坂井 清治

佐藤 基佳

澤田 拓士

清水 良臣

下道 宏作

末広 彰

砂川 敏文

高木 俊雄

高田 薫

高橋 英三

高橋 繁男

高橋 次夫

高橋 博幸

滝澤 寛禎

田代 満春

谷川 瑞穂

丹野 久夫

土器屋美貴子

中村 忠雄

野川 浩道

橋本 良行

早坂貴代史

林 俊克

藤村 裕一

益田 邦郎

真野 仁孝

三上 正幸

宮本 道男

森田 邦雄

森本 英敬

師田 郷太

矢木沢徳弘

横沢 冲彦

横山 敏

和田 明

渡辺 睦実

【5千円】

新井 敏孝

内山 和夫

加藤 喜市

河合 良治

川島 徹

木曾 誠二

久住 正博

久保田 学

栗田志之利

小林 幹子

齋藤 温子

佐藤 一也

佐村 久夫

高橋 一夫

中屋 尚也

西川 純善

濱崎 裕

松澤 滋

【3千円】

近藤 正治

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

芦澤 明	安部 忍	有沢 道朗	池上 健治	池田 友次
池水 千枝	石井麻優子	石田 正人	石橋 憲一	泉 幸子
磯野進三郎	伊藤 直吉	伊藤 仁志	稲田 一郎	乾 英二
井上憲太郎	井上 千春	岩井 栄子	宇井三喜子	上仲 一洋
大岩 成	太田 修一	太田 守	大塚 信明	大槻 啓二
大原 睦生	大山 洋	岡 初次	小原 裕光	奥田 善基
折橋 秀夫	恩田 求	笠井 晋	梶 隆	柏村 文郎
加藤 仁志	鎌田 隆	川崎 寧	川田 泰正	川村 孝次
菅野 宗夫	菊池 義明	高良 広之	古賀 元美	小西 正人
齋藤比呂志	斉藤 正明	坂口 加奈	佐々木健二	佐藤 伸哉
佐藤 邦忠	佐渡谷裕朗	佐野 幸男	佐保 寛志	柴田 雄二
白戸 綾子	新村 順一	杉浦 信子	杉浦 互	杉山 智
鈴木 光則	住友 寛	園田 眞	高石 信子	高桑 修
高嶋 浩一	高橋 秀清	高橋 正州	高橋やす子	高松 彰義
竹内 優貴	竹迫 紘	竹迫 真樹	田澤 博実	太島 聰
田中 静幸	田中 卓	田中 秀明	棚橋 祐治	谷村 浩一
角倉 光記	敦賀謙一郎	十倉 宏	所 和暢	鳥羽 建治
土門 由紀	中川 欣三	中川 努	中川 朋恵	長澤 次郎
中村 公子	西 武久	西川 耕一	西田 譲	新田 隆典
羽柴 清志	橋本 圭	蜂谷 進	花井 寛	羽田 昭夫
板東 聡	広瀬 清	広瀬とも子	深沢 晃	福本 幸久
藤代 寛	藤本 岳史	細井 一弘	増本多喜子	松井 修二
松原 亘	松尾 一則	丸山 純孝	三浦 和郎	水本 麻湖
三原 正士	宮崎 達也	三好 雅史	村上 豊	村林 宏
森田 昌雄	矢島 裕一	安田 英己	山口 純子	山口 隆之
山口 佳男	山崎 孝雄	楊 仕元	横幕 胤直	横山 誠人
吉田 定弘	吉野 英治	米谷 敏之	米山 修	脇本 隆
和田 隆一	渡辺 直美			

不掲載希望 89名

【個人・学外】（150名）

（五十音順・敬称略）

【30万円～50万円】

井上 昇 門屋 充郎

【10万円～29万円】

奥田 潔

【5万円～9万9千円】

大坪 秀典 山岸 仁

【1万円～4万9千円】

石原 鮎美	石原 貴文	大石 明広	大林 姿子	大和田琢二
小川 晴子	小田 賢一	小田 有二	笠原 誠人	嘉屋 元博
川島 千帆	川村 正洋	草場 信之	口田 圭吾	窪田さと子
玄 学南	佐藤 健一	高橋 伸治	塚本 孝志	手塚 雅文
中野 昌明	西田 慎吾	野並 雅章	福島 道広	福田 健二
舩川 正晃	宮原 和郎	宗岡 寿美	村上 徹	村西 由紀
森 正彦	山本眞樹夫	和田 大輔		

【2千円～9千円】

生田 和哉	石割 厚希	小倉 真輝	海田 芳隆	加藤 豊
木村 美紀	姜 興起	倉園 久生	坂本さや香	杉田帆奈美
高石 竜一	千葉三都希	津野 由希	中島 司典	花田 正明
堀田 努	村上 文朗	柳川 久	山口 将	若木 海理

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

（五十音順・敬称略）

相内 大吾	麻田 正仁	穴澤 清幸	荒谷 正樹	石井 利明
依藤 充明	岩部 順	梅津 一孝	大西 明美	大西 一光
奥村 香世	角田裕喜美	春日 純	金山 紀久	茅野 光範
川畑 秀伸	木田 克弥	木村 賢人	耕野 拓一	後藤 達彦
小山 耕平	斉藤 準	佐藤 禎稔	関谷 俊一	谷 昌幸
辻 修	David Campbell	得字 圭彦	西田 武弘	高橋 良江
早坂 美穂	東 陽介	古岡 秀文	蒔田 均志	松井 基純
松浦 佳子	松本高太郎	間宮 光岳	三浦 秀穂	村田浩一郎
矢島 大彰	山内 宏昭	山崎 栄樹		

不掲載希望 49名

各同窓会支部会等への出席

令和元年度に開催された、各同窓会の支部会へ奥田学長をはじめ、役員及び教職員が出席し、同窓生の皆様と懇親を深めました。



6月8日関東同窓会



9月14日釧路支部同窓会



11月16日オホーツク支部同窓会



2月7日関東畜産関連同窓会



2月8日岡山県支部同窓会

「ちくだいホームカミングデー 2019」を開催

10月12日（土）に、講堂などにおいて、卒業生、修了生及び教職員OB・OGの皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために、「ちくだいホームカミングデー 2019」を帯広畜産大学同窓会と共催で開催し、全国各地から約190名（教職員含む）の方にご参加いただきました。



講堂前での集合写真

国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 15名（任期2年：平成30年4月1日～令和2年3月31日）

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	奥 田 潔
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮 坂 寿 文
	よつ葉乳業(株) 常務取締役 十勝主管工場長	川 瀬 博 教
	日本甜菜製糖(株) 常務取締役 芽室製糖所長	鈴 木 良 幸
	(株)ズコーシャ 代表取締役社長	関 本 裕 至
	十勝農業協同組合連合会 専務理事	高 橋 英 三
	帯広商工会議所 会頭	高 橋 勝 坦
	(株)土谷特殊農機具製作所 代表取締役社長	土 谷 紀 明
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩 史
	帯広信用金庫 会長	増 田 正 二
	帯広畜産大学同窓会 会長	砂 川 敏 文
	帯広畜産大学 理事	柳 川 久
	帯広畜産大学 理事	井 上 昇
	帯広畜産大学 理事	門 屋 充 郎
	帯広畜産大学 副学長・事務局長	山 岸 仁

国立大学法人帯広畜産大学基金規程

(平成22年1月21日 規程第1号)

改正 平成28年7月29日 規程第30号 平成29年3月28日 規程第15号

(設 置)

第1条 国立大学法人帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を貸与又は給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。但し、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界、同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の使途)

第4条 学長は、学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第5条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

(賛助会員)

第6条 各基金の目的に賛同する者は、学長の承認を受けて賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

(事業年度)

第7条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(庶務)

第8条 各基金の庶務は、事務局関係課等の協力を得て、総務課基金・広報戦略室において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則(平成28年7月29日規程第30号)

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則(平成29年3月28日規程第15号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

国立大学法人帯広畜産大学基金賛助会員規程

(平成22年1月21日 規程第2号)

改正 平成28年7月29日 規程第31号

(趣 旨)

第1条 国立大学法人帯広畜産大学基金規程(平成22年規程第1号)第6条第2項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学基金(以下「基金」という。)の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、事業に協力するものであって、様式1の申込書を提出し、かつ、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申しこむことができる。

(1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。

(2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員で脱会しようとする者は、様式2の脱会届を提出するものとする。

2 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則(平成28年7月29日規程第31号)

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会細則

(平成22年1月21日 細則第1号)

改正 平成24年2月16日 細則第12号 平成27年6月2日 細則第7号

平成28年5月24日 細則第4号

(趣 旨)

第1条 この細則は、国立大学法人帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第5条第3項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任 務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 理事
- (3) 大学の役員及び職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) 事務局長
- (6) その他学長が必要と認めた者 若干人

(任 期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会 議)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第3条第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、事務局関係課等の協力を得て、基金・広報戦略室において処理する。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。



編集発行 帯広畜産大学基金・広報戦略室
所在地 〒080－8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
電話番号 (0155)49－5995・5228
<http://www.obihiro.ac.jp/fund>
